

賛助会員並びに個人会員各位

拝啓 早春の候、皆様方におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご交誼にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、糖鎖の機能を解明し、新しい有効な診断技術や治療法に展開していくためには、規格化された糖鎖の定性的・定量的プロファイル法の開発が最重要課題と考え、試料の処理速度、感度、精度、確度などの分析解析手法としての能力を十分に評価し、糖鎖の発現動態を解析するための方法論の標準化を図ることを目的に、GFRG (Glycoform Focused Reverse Genomics) 研究会を平成 18 年 11 月 6 日に発足しました。この間、ケモセレクトイブな糖鎖捕捉反応に基づく生体試料由来の糖鎖の定性・定量的なプロファイル取得を大幅に高速化する技術 (Glycoblotting 法) が開発され、血清等の試料から精製・標識された糖鎖の調製を自動化可能な工程で多試料を並列処理することができるようになり、GFRG 研究会の所期の目的を達成することができましたので、GFRG 研究会としては、一旦、終了したいと考えております。

一方、これまでに延べ 9 回のシンポジウムを開催して、糖鎖研究の応用領域の拡大のための情報交換、及び出会いの場を提供して参りましたが、このようなシンポジウムは糖鎖研究の発展のために今後益々必要になると考え、GFRG 研究会をシンポジウム開催に特化した「GFRG プロジェクト」と名称を変更し、続けて参りたいと考えております。

GFRG プロジェクトは、次のようにして実施致します。

- i) 理事会は解散し、10 名位の世話人で構成される世話人会で運営し、代表世話人を北海道大学大学院先端生命科学研究院・教授・西村紳一郎が務める。
- ii) シンポジウムの企画・開催は、シンポジウム会長を都度世話人会で選出して、会長のリーダーシップによってシンポジウムをオーガナイズする。
- iii) 個人年会費の徴収を止め、シンポジウムの参加費のみとする。
- iv) 賛助会員会費の徴収を止め、シンポジウムごとに協賛費あるいは広告費としてのご協力をお願いする。
- v) 名称変更は 2018 年 4 月 1 日からとする。

最後になりましたが、皆様方のこれまでのご支援ご厚情に感謝申し上げますと共に、今後とも GFRG プロジェクトへ引き続きご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

敬具

平成 30 年 3 月吉日

GFRG 研究会
会長 西村紳一郎